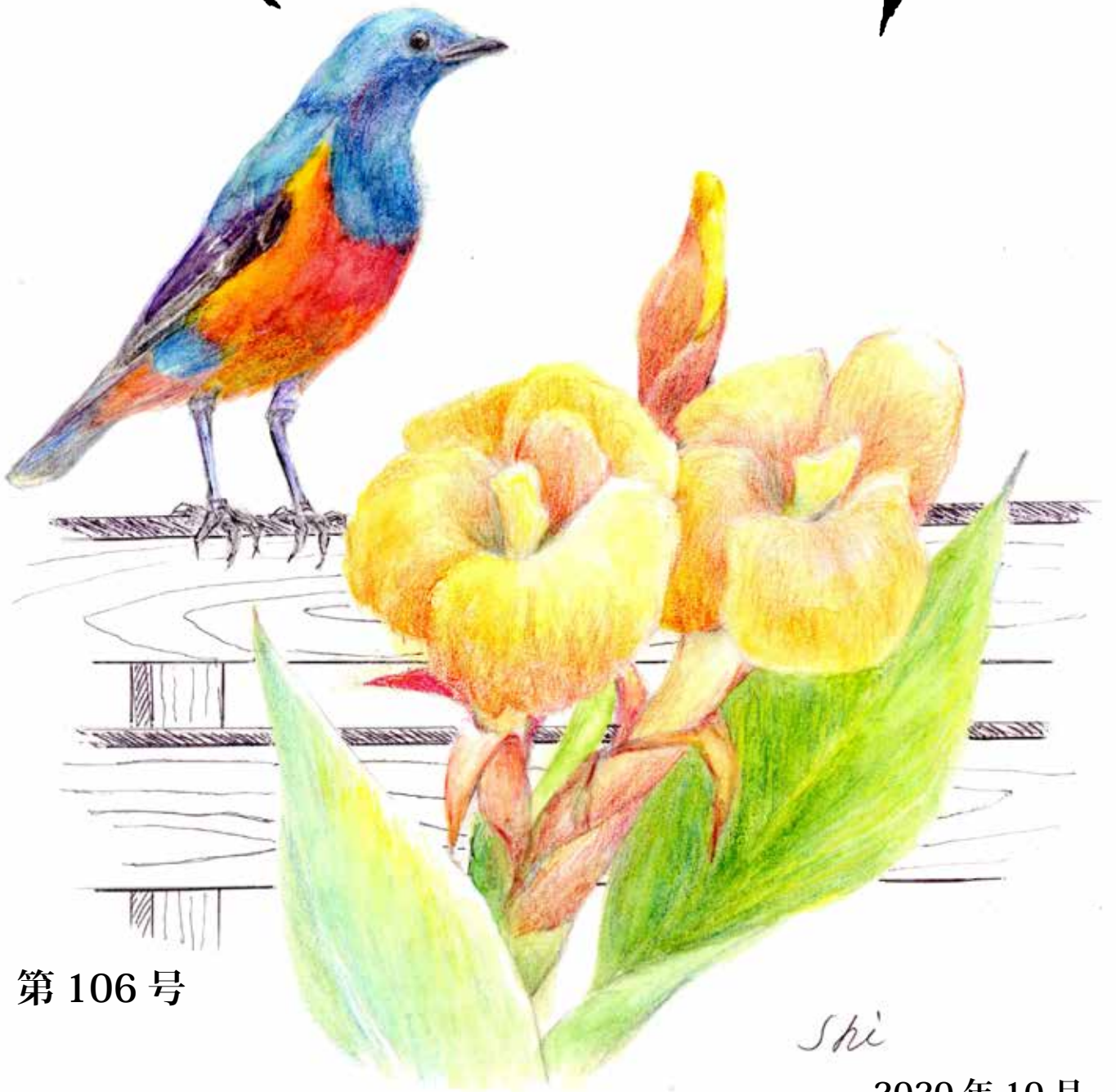


あじさい



第 106 号

Shi

2020年10月
日本野鳥の会三重 <http://miebird.org/>



2019年2月から足見川メガソーラー建設工事が始まりましたが、去年は幸い営巣している2つがいは繁殖に成功しました。しかし、1年が経ち工事が進み環境変化がサシバにどう影響するかは誰にも分かりません。私は今年も3月下旬から足見川とその周辺のサシバの観察を行う事にしました。その状況を報告します。

足見川の現状

足見川メガソーラー建設地は西エリアが2020年2月までに森林伐採、整地まで終了しました。東エリアは森林伐採が去年10月までには終わり、半分は4月上旬には整地までほぼ完了しようとしていました。しかし、三重県との約束でサシバ保護のための残置林が設定された区域の奥は木が伐採されて以降、何故か工事が止まり整地は行われていません。3月下旬に見に行ってみると土は積み上げられたままで放置され、草が生え始めていました。その様な状況でしたのでサシバの繁殖への影響は例年とほぼ変わりませんでした。



足見川メガソーラー建設地 東エリア 撮影：三曾田 明

サシバの繁殖状況

太陽光発電予定地の中央を横断する県道の西側、すなわち西エリアは整地が完了していましたので、今年は工事の騒音も無く、繁殖は順調でした。西エリアで営巣している山田ペアは巣立ちまでは確認できませんでしたが、7月下旬には巣立っていった様です。

目次

足見川と周辺のサシバ 2020年	2
表紙の言葉	2
ミヤコドリカウント	4
鳥 2題	5
1. サンショウクイ	5
2. トラツグミ	5
溜池のソーラーパネル	6
アブラゼミを食べるヤマガラ	7
ほのぼの鳥さん Watching	
～ふわもふ巣立ちビナ～	8
シギ・チドリ類の年齢・季節による羽衣の変化	
一連載第21回 アカエリヒレアシギと ハイイロヒレアシギ	10
野鳥記録のお知らせ	14
探鳥会予告 (2020年10月～12月)	15
事務局だより	15
探鳥会報告 (2020年7月～2020年8月)	15
編集後記	16

表紙の言葉

イソヒヨドリとカンナの花

松阪市 小野 新子

日の出前に目覚めベッドの上で耳を澄ませていると、一番に鳴きだすのがいつもイソヒヨドリだった。明け方の静寂を解き放つかのようにつくよかなイソヒヨドリの美声が町内に響き渡る。しばらくしてスズメの家族がチュンチュン鳴きだし 辺りがすっかり明るくなる頃カラスとヒヨドリが騒ぎ始めて1日が始まる。

町内でイソヒヨドリを見かけるようになったのは10年ほど前だろうか・・・

今年も3月から5月にかけて3羽の雄が縄張りを争っていた。彼らのソングポストは7階建てマンション屋上の角。ここを制したものに居住権が与えられる。毎年、学生塾の看板の片隅で子育てをしていたが今年はどうだったろう？ コロナ騒ぎで観察するのを忘れていた。

長雨が続いた7月末 裏庭のカンナの花のそばに1羽のイソヒヨドリが静かにとまっていた。



サシバ波木ペア 巣立ちした幼鳥

一方東エリアは、まだ若干整地作業がされていたため、騒音が少し響いていましたが、去年ほどではありません。しかし、営巣している波木ペアは去年とは営巣木の位置が変わった様で、観察しづらい状況になっていました。そして、通常なら6月上旬から始まる餌運びなどが確認出来なくなり、かなり心配されました。それでも7月に入ったところ去年の営巣木周辺で監視する雌と雄の餌運びが再び確認され、無事繁殖が継続されていました。おそらく、一度繁殖に失敗し場所を去年の所へ移した様です。そして、1か月遅れの8月9日に2羽の幼鳥を無事確認する事ができました。繁殖に一度失敗した原因は分かりませんが、森林伐採で環境が変わった事が微妙に影響したのは間違いないでしょう。

とあるサシバ繁殖地にて

足見川では山田、波木ペアのサシバ幼鳥が無事巣立ちしましたが、四日市西部の丘陵地では他にもサシバの営巣が数か所確認されています。私は工事で足見川の環境変化が繁殖に与える影響を調べるため、東エリアの波木ペアを中心に観察していますが、時々他の繁殖場所の様子も確認する様にしていました。



営巣木の上から外を眺めるサシバ幼鳥

7月5日にそのとある繁殖地に行くと、丁度雄が巣に餌を持って帰って来ました。営巣木であろう木を確認すると、上の方に1羽のサシバがとまっており写真で確認してみるとサシバの幼鳥でした。急いで離れた高台へ移動して木陰に隠れて

営巣木全体を確認してみると幼鳥の止まっている木の中で動くものがあります。スコープで拡大して見るともう1羽の幼鳥が必死に枝をよじ登り、先に登っていた幼鳥のところへ行こうとしています。更に巣本体にはもう1羽がじっとしています。この繁殖地では全部で3羽の幼鳥が育っていました。幼鳥はまだ飛ぶ勇気がない様で枝を這う様に登ります。ようやく上までたどり着いて、その兄弟2羽と一緒に初めて見る外の景色をキョロキョロと見渡しています。やがてまた親が餌を持って帰って来ると転げ落ちる様に急いで巣へと戻って行きました。この日は営巣木から離れる気配はなく巣立ちまでは行っていない様なので、また観察に来る事にしました。



翌日、巣立ちしたサシバ幼鳥

翌日、観察に行くと、営巣木の隣の枯れ木に1羽の幼鳥がとまっていました。他の2羽はまだ営巣木内で這い回っています。雌親は周辺の繁みに隠れて幼鳥を見守っています。そして、雄親は30分おきぐらいに餌を運んできて近くまで来ると合図する様に鳴き、雌と幼鳥に知らせます。その鳴き声を聞いた幼鳥は羽をバタつかせて必死にアピールして餌をねだります。雄は一番激しくアピールしている幼鳥目掛けて飛び込み餌を与えて直ぐに狩りへと戻ります。雌は巣の近くへ戻り、餌を食べている無防備な幼鳥を守る様に周囲を警戒していました。

7月8日に幼鳥は3羽とも営巣木を離れて周辺の枯れ木に移り終え、巣立ちを完了しました。まだ、飛ぶには心許ない感じですが近くへ移る事は出来ます。そして、親が餌を持って来てくれるのを3羽で待ちます。しばらくするとお腹が空いたのか何度も大声で鳴いて餌を催促します。それを聞いた雌は監視を中断して狩りを始めます。やはり、3羽もいては雄の餌だけでは充分ではないほど大きく育って来たのでしょうか。両親は忙しそうに狩りへと出掛けました。

幼鳥は毎日居場所を変え、どんどん営巣木から離れた場所へ移動していきます。しかし、お腹が空くと大声で鳴くので居場所は直ぐに分かります。ですが夏の日差しがきつくなって来ると木陰に入り込んでしまい出てこなくなり確認が困難になってきました。そして、その内に幼鳥の餌をねだる声は聞こえますが親鳥が餌を運ぶ姿があまり見られなくなってきます。そろそろ独り立ちを促している様でした。巣立ちから一週間経つと餌運びは見られなくなり幼鳥の鳴き声も聞こえず姿は見られなくなりました。無事、独り立ちに成功した様です。

その後、営巣地周辺で狩りをする幼鳥の姿が見られる様になりました。やがて来る渡りの時期までに狩の技を磨いて体力をつけているのです。来年には無事渡りを終えて、私たちのところへ成長した姿で帰ってきてもらいたいですね。

最後に

今回、巣立ちを観察した場所は民家も無く、耕作している農家の方が通るぐらいで散歩の人も少なくサシバにとっては安心して営巣できる場所なのでしょう。私の観察もサシバに影響ない様に1日1、2時間程度に控えて、観察場所も250m



飛翔するサシバ幼鳥

ほど離れた木陰で行いました。それでも移動する際に狩りをする雄とバツタリ出会い、狩の邪魔になってしまう事もありました。三重県内では人間の開発行為によりサシバの営巣場所はどんどん少なくなってきているのが現状です。そこへ巣の目の前でカメラマンが長時間張り付くと、周辺のカラスや猛禽類などは人の動きも良く見ているので、営巣する鳥の脅威になる事が多々あります。観察する時は営巣している鳥ばかり見ているのでは無く、周囲の状況も見て悪影響があると感じたら直ぐにその場を離れる配慮も必要かと思えます。これからもこの三重県でたくさんの鳥が安心して営巣できる環境を維持していくために皆様のご協力をお願いします。



ミヤコドリカウント

(2019年12月から2020年7月)

カムチャツカからのフラッグ付きミヤコドリで話題になりましたが、伊勢湾西岸に飛来するミヤコドリの数もやや増加しています。表のように県北部の高松海岸には多数が定着したようです。二枚貝など餌が豊富にあるのではないかと思います。また、松坂港でもかなりの数が見られるようになりました。橿田川以東は村松海岸(伊勢市村松町)まで調査していますが、橿田川以東にミヤコドリは見られていません。

今年の越夏数はあまり多くなく、9羽に留まりました。来冬もカムチャツカからのフラッグ付きが見つかるでしょうか？

なお、調査に参加された方々は
安藤 宣朗・今井 鈴子・今井 光昌・岡 八智子・
奥山 正次・片山 賢一・近藤 義孝・笹間 俊秋・
田中 洋子・中村 洋子・西村 泉・平井 正志・
吉崎 幸一(五十音順)です。

(平井 正志)

表:ミヤコドリカウントの結果(2019-2020)

	2019/12/23	2020/1/20	2020/2/18	2020/7/10
ミヤコドリ				
高松海岸	63	94	92	9
鈴鹿川河口	0	5		
安濃川河口	2	16	59	0
雲出川河口・五主海岸	0	1	0	0
松坂港	58	39	0	0
橿田川河口				0
合計	123	155	151	9
ズグロカモメ(全域)	12	15	17	--
コクガン(全域)	5	4	0	--